

大学野球における規律とチームワークの関係について

檜内 祥吾 (競技スポーツ学科 コーチングコース)

指導教員 北村 哲

キーワード：規律，秩序，チームワーク

1. 緒言

チームとは同じ目的や目標を持った者が集まる集団の事である。異なった思考や行動，言動が現れ，成員全てのベクトルが一つの方向に向いていなければ，チームの目標達成への可能性は薄れてしまうため，チームの連帯であるチームワークが重要である。スポーツマンは，規律ある行動を求められることが多いが，規律や規則を守ることは，秩序を乱さないことに繋がり，モラルある行動がチームのパフォーマンスやチームワークに大きく関係すると考えられる。

そこで，本研究は，チームパフォーマンスに大きな影響を及ぼすチームワークとチームメンバーが感じる規律の必要性およびどれくらい規律が守られているかという秩序が，どのような関係にあるのかを明らかにすることを目的とする。

2. 調査方法

1) 対象

びわこ成蹊スポーツ大学硬式野球部員 93 名，S 大硬式野球部員 98 名，K 大硬式野球部員 68 名の計 259 名。

2) アンケート調査

「規律・規則に対する必要性」および「どれだけ守られているか」についてのアンケート調査 (全 37 項目)，また，本学野球部のチームワークを評価するために，山口 (2009) が作成したチームワーク測定調査用紙を著者が修正し，用いた。

3) 分析方法

アンケート結果を集計し，「規律・規則の必要性」，「どれだけ守られているか」について各大学別に比較を行った。チームワークの評価については，各大学のチームワーク得点の平均値を算出し，比較，検討を行った。

3. 結果及び考察

規律の必要性についての 37 項目に対する回答で，びわこ大には「分からない」という回答が多く見られたのに対し，S 大や K 大にはほとんどなかった。質問項目は一般的な規律や規則であり，

それに対し「分からない」という回答が多いということは，びわこ大には世間一般の判断基準を持ち合わせていない者が多いと考えられる。このような者が多く存在すると，規律や規則を逸脱した問題行動が起きてしまい，それが原因で技術や全体練習，パフォーマンス向上にあてる時間が短くなってしまう。また，野球の練習時間が減少することで，野球に対するモチベーションが下がってしまい，野球部に対する帰属意識が薄れてしまうことが考えられる。チームワーク得点平均値の結果から (表 1)，得点が低いチームは，一般常識を備えていない者が多く存在し，チームワークを乱す原因になっていることが考えられる。また守っている者と，守らない者の間に溝が生まれ，チームワークが乱れる一つの要因となることが考えられる。

表 1 チームワーク得点平均値

	びわこ大	K大	S大
得点	110.45	126.38	127.57

4. まとめ

本研究の結果から，チームワーク得点が低いチームは，一般常識を備えていない者が多く存在し，規律や規則を疎かにしている者が多く，チームワークを乱す原因になっていることが考えられる。びわこ大は判断基準が曖昧であることから，技術や全体練習，パフォーマンス向上にあてる時間が短くなり，野球に対するモチベーションが下りやすくなる環境であることが推察され，これがチームワークの低下をもたらす要因と考えられる。

5. 引用・参考文献

- 遠藤俊郎 (2009) チームスポーツにおける集団規範—特にバレーボールについて—。山梨大学教育学部附属教育実践研究指導センター研究紀要 14, 84-94.
- 市川淳信 (1995) ディシプリンを考える研究技術計画 10, 142 - 146.
- 山口裕幸 (2008) チームワークの心理学—よりよい集団づくりをめざして。サイエンス社：東京 pp. 93-98.